

リリースノート 顔跡／KAOATO Ver4.1.2

No	機能追加	内容	機能名
1	監視機能遅延状況の画面表示改善	監視機能の処理に負荷がかかり極端に遅延している状態がわかりやすいように、画面背景を黒にし、処理時間にハイフンを表示するように改善しました。	監視機能(TK)
2	カメレオンコードのみモード追加	監視機能に「カメレオンコードのみ」モードが追加されました。	監視機能(TK)
3	登録者強調表示設定改善	設定順モードで強調表示エリアへ基本情報に割り当てられていない登録者でも割り当てることができるようになりました。	登録者発報監視機能(WA)
4	ログ参照リストの登録者、全景表示	リスト表示時、ログ顔以外に発報した登録者顔、全景の記録画像が表示されるようになりました。	検索機能(ログ参照)(SV)
5	絞り込み条件障害対応	正面率、目間距離の検索条件が正しく結果に反映されない障害に対応しました。	検索機能(ログ参照)(SV)
6	目位置補正の障害対応	目位置補正後の一部の顔情報が正しく反映されない障害に対応しました。	登録者登録機能(SVR) 登録者基本情報機能(SVI) 登録者顔画像機能(SVF) 照合比較機能(FC)
7	登録者基本情報設定の障害対応	登録者顔画像機能(SVF)から登録者基本情報へ顔を設定する場合に、基本情報へ正しく顔が設定されないことがある障害に対応しました。	登録者基本情報機能(SVI)
8	登録者参照リストの全景表示	リスト表示時、登録者顔以外に、全景の記録画像が表示されるようになりました。	登録者顔画像機能(SVF)
9	基本情報割り当て機能追加	顔の登録時に、同時に基本情報への割り当てができるようになりました。	登録者登録機能(SVR)
10	タイムライン表示機能追加	新たにKAOATOアプリケーションが記録したログ情報をタイムライン方式で表示できる機能が追加されました。	タイムライン表示機能(SVT)
11	メモ単位グループ登録機能追加	基本情報に割り当てられていない登録者でもメモ単位でグループに割り当てることができるようになりました。	登録者グループ管理機能(GR)
12	画像回転再生の障害対応	画像回転機能で画像を回転している状態で動作させ、検索機能(ログ参照)(SV)で再生を行うと、画像が回転して再生される障害に対応しました。	入退室 認証機能(GCA)
13	性別未設定データ割り当て障害対応	性別未設定の基本情報に登録した顔を紐づけようとすると例外が発生することがある障害に対応しました。	入退室 登録機能(GCR)
14	重複起動チェック追加	同じ画面を1つしか起動できないようにしました。	入退室設定ファイル作成ツール(GCConfig)
15	簡単設定参照メニュー追加	入退室の認証機能、登録機能、削除機能の各種設定を簡単に参照できるメニューを追加しました。	入退室設定ファイル作成ツール(GCConfig)
16	文字列設定の障害対応	設定した情報にカンマ(,)が含まれていると、不要な文字が追加されてしまう障害に対応しました。	入退室設定ファイル作成ツール(GCConfig)
17	Tabキー押下時障害対応	画面起動後にTabキーを押すとエラーが発生する障害に対応しました。	入退室設定ファイル作成ツール(GCConfig)
18	来場者番号桁数の改善	来場者番号に11桁以上の数値が入力できるようになりました。	人物管理ツール(SNP)
19	削除ボタン日本語、英語対応	顧客メンテナンス画面の削除ボタンの表示を日本語の場合は「削除」、英語の場合は「Delete」となるように改善しました。	人物管理ツール(SNP)
20	スタートメニューへの追加	スタートメニューの「顔跡／KAOATO」ツールメニューに管理機能(AD)を追加しました。	管理機能(AD)
21	ワーカー数上限改善	監視機能の「監視:顔検出ワーカー数」の上限が100までとなりました。	管理機能(AD)
22	機能制限モード追加	ライセンスが無効な装置で起動した場合、データベース接続設定など最低限の設定が可能な機能制限モードで起動するようになりました。	管理機能(AD)

No	機能追加	内容	機能名
23	一覧画面の登録者、全景表示	一覧画面でログ顔以外に発報した登録者顔、全景の記録画像が表示されるようになりました。	発報監視機能 (Android RV)
24	設定候補値の障害対応	候補値を設定した行を移動させると、設定した候補値が消える障害に対応しました。	詳細項目設定機能 (DetailSettings)
25	IPカメラパスワード非表示対応	IPカメラのパスワード入力の欄に文字を入力すると、入力した文字が隠し文字「*」で表示されるようになりました。	発報連動キャプチャ機能 (CPM)
26	SQL Server FILESTREAM機能対応	データベース「SQL Server」のFILESTREAM機能に対応しました。 FILESTREAM機能に対応したことにより、データをより効率的に保存することができ、データ保存最大容量の制限がある無償版「SQL Server Express Edition」であっても、従来より大容量のデータを保存できるようになりました。	—
27	.NET Framework 4.6.1対応	動作環境の「.NET Framework 4.6.1」に対応しました。 従来と比べて豊富な機能、最新技術に対応できるようになりました。	—